

本村小学校



だより

8・9月合併号

発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

子供たちによる「児童自治」を楽しむ

校長 山村 登洋

2学期のスタート

学校に子供たちの笑顔と笑い声に戻ってきました。約3週間という例年とは違う夏休みが終わり、本日より2学期のスタートです。新型コロナウイルス感染症の中、子供たちは夏休みをどう過ごしたのでしょうか。

清掃活動の再開

2学期開始とともに1学期と変わるところが一つあります。それは清掃活動の再開です。1学期は、新型コロナウイルス感染防止



子供たち一人一人が限定した場所、例えば自分の机、いす、棚

の観点から中止していましたが、

予定通りに2学期から再開することとしました。

ただし、清掃の形態もニューモラルです。以前のような清掃活動ではありません。清掃箇所を限定し、床ふき掃除は行いません。清掃器具に番号を付け、1週間単位で個人持ち使用とします。

を掃除していきます。掃き掃除も場所を区別して限定的に清掃していきます。

8月中旬に文部科学省から配付された資料に基づき、机、いす等の除菌拭き掃除を奨励していきます。

清掃活動(教育)は、日本独特の教育かもしれませんが、基本的な生活習慣の形成などの日常生活の実践に結びつく教育的効果をもっていることや責任感など基本的な人格形成に必要なことを学ぶことができる大切な教育だと考えています。また、ボランティア活動的な要素ももっており積極的に行っていきたいと思えます。

2学期は「児童自治」が楽しい

2学期は「児童自治」を意識した教育活動を展開していきます。簡単に言うと子供たちが学校のきまりやルールを決めたり、行事の企画を考え

たりすると言うことです。本校には児童会(代表委員会)という組織があります。今までもこの児童会が中心となり同様なことを行っていました。が、行動を起こすスタートそのものが教師(学校)からのトップダウンとなっています。それを一歩踏み込んで、子供たちの発想を大事にして、子供たちに任せようと思えます。

全校投票

そして、物事の決定には全学年による全校投票で決めていきます。中心となるのは高学年となりますが、児童会だけに限らず、様々な委員会や学級から企画が出てくることを期待しています。



もちろん、全て何でも子供

たちが決められるわけではありませんが、教育の一環ですから、私たちも指導はしていきます。

これは、今年度の教育スロガンでもある「自己指導能力を育むポジティブな学校」に繋がるものと考えます。新型コロナウイルス感染症の影響で様々な教育活動に制限、特に学校行事や学校生活には大きな変更を余儀なくされています。正にこの時期にこそ、児童による児童のための「児童自治」はタイムリーな教育活動ではないでしょうか。

さて、2学期の間に、子供たちの全校投票によってどんなことが決まっていくのか、今からワクワクしています。

